



平成 25 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名：株 式 会 社 大 京  
代 表 者 名：代 表 執 行 役 社 長 山 口 陽  
コ ー ド 番 号：8840 東 証 第 1 部  
問 い 合 わ せ 先：執 行 役 グ ル ー プ 経 営 企 画 部 長 宮 川 公 之 介  
TEL：03-3475-3802

## オリックス・ファシリティーズ株式会社と株式会社アベックス和光との 株式交換による子会社化のお知らせ

本日、当社の完全子会社であるオリックス・ファシリティーズ株式会社（以下「OFC」）と株式会社アベックス和光（以下「アベックス和光」）は、OFCを株式交換親会社、アベックス和光を株式交換子会社とする株式交換の承認のための株主総会を開催し、両社ともに株式交換について決議されましたので、下記のとおりお知らせいたします。  
なお、本株式交換の効力発生日（平成 25 年 3 月 29 日予定）をもって、アベックス和光はOFCの子会社となります。

### 記

#### 1. 目的

ストック事業の拡大を図っている当社グループでは、その柱となる不動産管理事業において、株式会社グランドアメニティの株式取得による子会社化（株式取得期日：平成 24 年 4 月 11 日）、株式会社大京アステージと株式会社ジャパン・リビング・コミュニティの完全子会社間の合併（合併期日：平成 25 年 4 月 1 日予定）、株式会社穴吹工務店の株式取得による子会社化（株式取得期日：平成 25 年 4 月 1 日予定）を実施する等、その収益力と安定基盤の強化に努めております。

当社の完全子会社であるOFCが、オフィスビル・商業施設等のビル管理を中心に、顧客資産の運営管理やテナント運営管理、コンストラクション・マネジメント等の幅広い事業展開を行う一方、アベックス和光は、多数在籍する有資格者のもと、電気設備工事を中心に、計装工事・空調衛生設備工事などの工事事業を主力事業としています。

両社が一体となることでそれぞれが持つ強みが融合し、当社グループにとってプラスとなる様々なシナジー効果が見込まれます。

#### <期待するシナジー効果>

大京グループが有する全国の顧客基盤とアベックス和光が有する高い技術力・施工能力を掛け合わせることで、従来の大京グループ単独では難しかった、マンション・ビル管理ストックに対する電気関連工事の提案を増やし、受注の拡大を図ります。

また、多数の有資格者・技術者を獲得することにより、十分な収益性確保が可能となる工事案件については、内製化対応を推進し、これまで外注先に頼るしか選択肢が無かった分野の工事についても、収益性を大きく改善するべく取り組んでまいります。

更に、実績豊富な人財による付加価値の高い提案が可能となり、太陽光発電システムや蓄電池設備などを筆頭とする省エネ・防災関連の工事に関して、大京グループの管理ストックからの工事受注を拡大してまいります。

#### 2. 要旨

##### (1) 株式交換の日程

|              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| 株式交換契約締結     | 平成 25 年 2 月 15 日（OFC、アベックス和光） |
| 株式交換契約承認株主総会 | 平成 25 年 3 月 15 日（OFC、アベックス和光） |
| 株式交換の効力発生日   | 平成 25 年 3 月 29 日（予定）          |

##### (2) 株式交換に係る割当の内容

OFC（株式交換親会社）は、アベックス和光（株式交換子会社）より効力発生日（平成 25 年 3 月 29 日）時点の発行済株式全株を金銭交付方式で取得するもの。

### 3. 株式交換当事会社の概要

|                            |   |        |  |        |
|----------------------------|---|--------|--|--------|
| (1) 名称                     | オリックス・ファシリティーズ株式会社<br>(株式交換親会社)   |        | 株式会社アベックス和光<br>(株式交換子会社)   |        |
| (2) 所在地                    | <本店><br>京都府京都市下京区大宮通仏光寺下る<br>五坊大宮町 99 番地<br><東京本社><br>東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目 25 番 5 号<br>代々木大京ビル |        | 東京都千代田区内神田一丁目 12 番 11 号  |        |
| (3) 代表者の役職・氏名              | 代表取締役社長 松崎 勉  |        | 代表取締役社長 寺林 進   |        |
| (4) 事業内容                   | 総合ビル管理・賃貸マンション管理・<br>その他不動産管理・不動産仲介・建設業   |        | 電気設備工事・計装工事・空調衛生設備工事・<br>防災システム・LAN システム・設計・施工、モ<br>ーターメンテナンス、プログラムコントロール<br>システム開発・施工 |        |
| (5) 資本金                    | 857 百万円   |        | 300 百万円  |        |
| (6) 設立年月日                  | 昭和 45 年 2 月 12 日  |        | 昭和 26 年 1 月 31 日   |        |
| (7) 発行済株式数                 | 2,782,800 株   |        | 4,562,000 株  |        |
| (8) 決算期                    | 3 月 31 日  |        | 3 月 31 日   |        |
| (9) 従業員数                   | 898 名 (平成 24 年 4 月 1 日現在)   |        | 147 名 (平成 24 年 3 月 31 日現在)   |        |
| (10) 主要取引先                 | 官公庁、学校、一般顧客   |        | 株式会社丸井、日本製紙株式会社、DIC 株式会<br>社   |        |
| (11) 主要取引銀行                | 株式会社京都銀行  |        | 株式会社三井住友銀行、株式会社福島銀行、株<br>式会社三菱東京 UFJ 銀行  |        |
| (12) 大株主および<br>持株比率        | 株式会社大京  | 100.0% | 高島琢己   | 18.75% |
|                            |   |        | アベックス和光社員持株会   | 15.17% |
|                            |   |        | 東京中小企業投資育成株式会社   | 10.96% |
| (13) 当該会社の経営成績および財務状態 (単体) |   |        |  |        |
| 決算期                        | 平成 24 年 3 月 期   |        | 平成 24 年 3 月 期  |        |
| 純資産                        | 5,014 百万円   |        | 1,909 百万円  |        |
| 総資産                        | 12,466 百万円  |        | 4,376 百万円  |        |
| 売上高                        | 28,170 百万円  |        | 5,268 百万円  |        |
| 営業利益                       | 1,393 百万円   |        | 226 百万円  |        |
| 経常利益                       | 1,475 百万円   |        | 245 百万円  |        |
| 当期純利益                      | 846 百万円   |        | 190 百万円  |        |

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0 株 (議決権所有割合: 0.0%)   |  |
| (2) 取得株式数     | 3,877,199 株<br>取得株式数は、株式交換効力発生日前日までに償却する予定の自己株式 204,000 株及び<br>アベックス和光社員持株会の保有する未配分株式 480,801 株を除いた 3,877,199 株 |  |
| (3) 取得後の所有株式数 | 3,877,199 株 (議決権所有割合: 100.0%)   |  |

### 5. 今後の見通し

当社は、平成 25 年 3 月期第 4 四半期よりアベックス和光を連結子会社とする予定ですが、当社への連結業績への影響は軽微であります。

以上